単施設用

研究実施についてのお知らせ

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　平成　30年　6月　8日

【研究課題名】

当院での妊娠/授乳とくすり外来における薬剤師による介入効果の検討

【研究期間】

2018年4月1日から2018年5月31日

【研究対象】

当院にて2016年4月から2018年3月の2年間に妊娠/授乳とくすり外来を受診した

相談者

【研究目的・意義】

　現在、我が国においては、医薬品の妊婦・胎児への影響に関して、必ずしも十分な情報があるとはいえない。そこで、厚生労働省の事業として、2005年10月より国立成育医療研究センターに妊娠と薬情報センターを設置し、妊婦・月台児に対する服薬の影響に関する相談・情報収集を実施している。当院は2013年に妊娠と薬情報センターの沖縄県地域拠点病院となり、妊娠・胎児に対する服薬の影響に不安を持つ相談者に、妊娠と薬情報センターと連携し「妊娠/授乳とくすり外来」で医師、薬剤師、助産師による情報提供を行っている。

薬剤師は、医薬品の添付文書は勿論の事、妊娠と薬情報センターからの回答書や各種文献を基に薬の影響について評価し、外来で相談者へ情報提供を行っている。今回、妊娠/授乳とくすり外来での薬剤師の介入と、その効果について後方視的に調査を行う。

【研究方法】

紙カルテ及び電子カルテの面談記録を用いて後方視的に調査を行う。

【研究に用いられる試料・情報の種類】

　妊娠と薬情報センター問診票、妊娠/授乳とくすり外来面談記録に記載されている事項

　年齢、妊娠週数、既往歴、相談内容、相談のきっかけ、面談後の相談者の心理的変化等

【個人情報の取扱い】

個人が特定される情報については匿名化を行っており、公表時に個人が特定される情報が公開されることはありません。

【本研究に関する問い合わせ先】

沖縄県立中部病院　診療科名：薬局　担当者名：野波　陽子

沖縄県うるま市宮里281番地

TEL：098-973-4111 （代表）